

令和4年度東大和市立郷土博物館協議会委員会議

会 議 次 第

日 時：令和5年1月19日（木）

午後1時30分から

場 所：郷土博物館会議室

教育長あいさつ

委嘱状伝達

委員自己紹介

職員紹介

会長及び副会長の選任について

議題

- 1 令和4年度・令和5年度郷土博物館事業について （資料）
- 2 その他

令和4年度東大和市立郷土博物館協議会委員会議（要旨）

開催日時：令和5年1月19日（木）午後1時30分～2時50分

開催場所：東大和市立郷土博物館 会議室

出席委員：江原光紀委員 中屋珠美委員 目黒トシ子委員 中村耕委員 神野善治 佐藤千とせ
委員 6名

欠席委員：川瀬徹委員 西川晴美委員 宮崎佑介委員 3名

事務局：高田生涯学習課長・坂本郷土博物館長・池田主事・中山主事

○教育長より挨拶

○委嘱状の伝達

○委員挨拶

○職員紹介

○会長及び副会長の選任

会長に神野委員、副会長に佐藤委員と推薦があり、異論がなかったためそのとおりに決定した。

○議題 令和4年度・令和5年度郷土博物館事業について

事務局：資料をもとに令和4年度・5年度の郷土博物館事業について説明。

委員：企画展示に関する図録などは作成しているか。

事務局：作れていない。簡単な案内チラシは館内印刷で作る場合もある。

委員：印刷物を作ることができれば、作成物が残って蓄積していく。ぜひ作ってほしい。展示に対する予算があれば他市等からの資料の借用が可能となり、展示にバリエーションが出せる。博物館内にある資料を活用し工夫して展示を作成するのが基本だとは思いますが、マンネリ化してしまっているように感じる。

委員：ホームページをよく利用するが、博物館に関する情報が少ないように感じる。イベント予定は掲載されているが、実施後の報告も見ることができればよいのでは。また、博物館だよりも置き場が限定されており、手に入りにくい場合がある。広報をもう少し広げてほしい。

委員：吉岡堅二展の展示方法がとてもよかった。プラネタリウムについて、ムーミンの絵本読み聞かせや本の紹介等、イベントを行うことができればより多くの来館者に知ってもらうことができるのではないかと。博物館だよりについては商工会のお店に置いてもらえればよいのでは。普段公民館等を利用しない若い方にも手に取ってもらえる。また、他市の博物館を訪れた際に地元の人形師に関する企画展示を行っていた。東大和でもそういった人材の発掘、展示を積極的に行ってほしい。雑木林の会が作成している炭を販売できればよいのでは。

委員：博物館だよりはホームページに掲載して全国から見られるようにできればよいのでは。昔の道具の紹介は興味を持つ人が多く、知ってもらうきっかけになる。

委員：薬用植物園ではツイッターも活用して広報活動を行っている。SNSでの広報は時代的にかかせない。また、西武線・モノレールの駅にチラシ等を設置するのも効果が大いではないか。

委員：来年度から市内小・中学校のコミュニティスクールへの取り組みが開始され、地域との連携が重要になってくる。積極的に博物館を活用していきたい。

事務局：数校は年度が替わってすぐに打合せを行い、1年間の授業の予定を組んでしまうため予定が埋まってしまう可能性がある。

委員：星空観察会について、各地域の公民館などで行うことはできないか。参加したいが博物館に来ることが難しい場合もある。

事務局：市街地では街明かりによってよく見えない場合がある。見えやすい惑星などの観察会は別の会場でやったことがある。

委員：企画展示「日記が語る戦時中の暮らし」を見に来たが、戦時中の一般女性の暮らしやつらい生活の中でも楽しみがあったことを感じることができ、とてもよかった。戦争について学ぶ小学六年生の授業にも活用できれば良いのではないかと。

委員：小学校の地域学習は3年生で行われるが、歴史感覚がまだ養われておらず難しいのでは。また、先生方も世代交代が進み、昔の道具などに関する知識が薄くなっている。先生方の学びの場も作ることができるとよい。市町村合併によって各地域にあった博物館を一つにまとめてしまうという自治体があるが、博物館は観光目的の施設ではなく地域の方々のための施設だという意識があればこのようなことは起こらない。そういった意識を強め、地域との結びつきを大切にしてほしい。

委員：教員が郷土誌を学ぶ機会がない。異動してきたタイミングで市内の巡廻など勉強の機会を作れるとよい。中学校でもコミュニティスクールの取り組みで博物館を活用できないか検討したい。実施できる授業の一覧をもらえれば教員に紹介できる。

事務局：新型コロナウイルスが感染拡大する前までは、教員の初任者研修で市内を巡っていた。中学校との連携という点では、職場体験の受け入れを行っていたことがある。

委員：狭山緑地と紐づけた、雑木林の樹木を活用して作られた民具の企画展示をぜひ開催してほしい。

○その他

事務局：1月21日、22日に行われる郷土誌フェアを紹介。